

令和7年度 5歳児（年中児）健診の実施報告

1、 目的

幼児期において幼児の言語の理解能力や社会性が高まり、発達障害が認知される時期であり、保健、医療、福祉による対応の有無が、その後の成長・発達に影響を及ぼす時期である5歳児に対して健康診査を行い、こどもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援を行うとともに、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、もって幼児の健康の保持及び増進を図ることを目的とする。

2、 実施結果

1、受診結果（最終）

結果表

上段：（人） 下段：割合（％）

対象児	受診児	異常なし	管理中	要観察	要精検（二次健診）	連携同意なし（調査票）
1,168	1,115 (95.5)	819 (73.5)	158 (14.2)	116 (10.4)	17 (1.5)	5 (0.4)

対象児就園状況

（人）

対象児	市内園	市外園	未就園	未受診
1,168	1,048	62	5	53

2、未受診者状況

（人）

総数	調査票返答なし	転出
53	48	5

* 未受診者には勧奨通知1回、地区担当より電話勧奨実施済み。

3、結果内訳（重複あり）

（ア）調査票結果

相談希望ありの保護者（87名）には保健師から電話連絡し、育児相談実施。

そのうち発達相談に28名つながる。

（イ）園訪問実施結果

① 実施結果

（人）

観察児	二次健診	発達相談	保健師フォロー	園経過観察
94	17	10	41	26

* 保健師フォローは電話で保護者に連絡（発達相談、二次健診勧奨等）

② 園訪問活動状況

訪問園：22園（訪問回数：23回）

4、二次健診受診結果（受診結果 要精検17名）

（人）

対象児	受診児	発達相談	医療紹介	保健師フォロー
17	10	8	1	1

* 未受診の7名のうち3名は希望なし、4名は発達相談につながる。

5、フォロー実施状況

本年度の5歳児健診において、専門的な支援や継続的な見守りが必要と判定された対象児の状況は以下の通りです。

- フォロー対象児合計：133名（要観察：116名、要精密検査（二次健診）：17名）

支援・アプローチの内訳は以下の通りです。

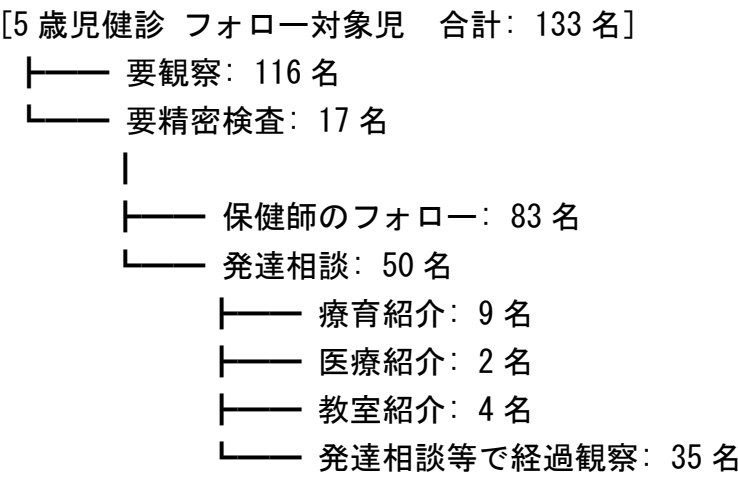
- 保健師のフォロー：83名
- 発達相談：50名

発達相談（50名）からの展開・接続状況

(人)

療育紹介	医療紹介	教室（年長で利用）	発達相談等で経過観察
9（うち5人が療育利用）	2（吃音・運動発達）	4	35

図1：5歳児健診 フォロー対象児支援状況



5歳児（年中児）健診のお知らせとお願い

◆ 5歳児（年中児）健診とは

宇治市では、年度中に5歳になるお子さんを対象に、集団生活を楽しめているか、困っていることはないか、など日々の様子を振り返り、成長の確認をしていただくため令和7年度から5歳児（年中児）健診に取り組んでいます。

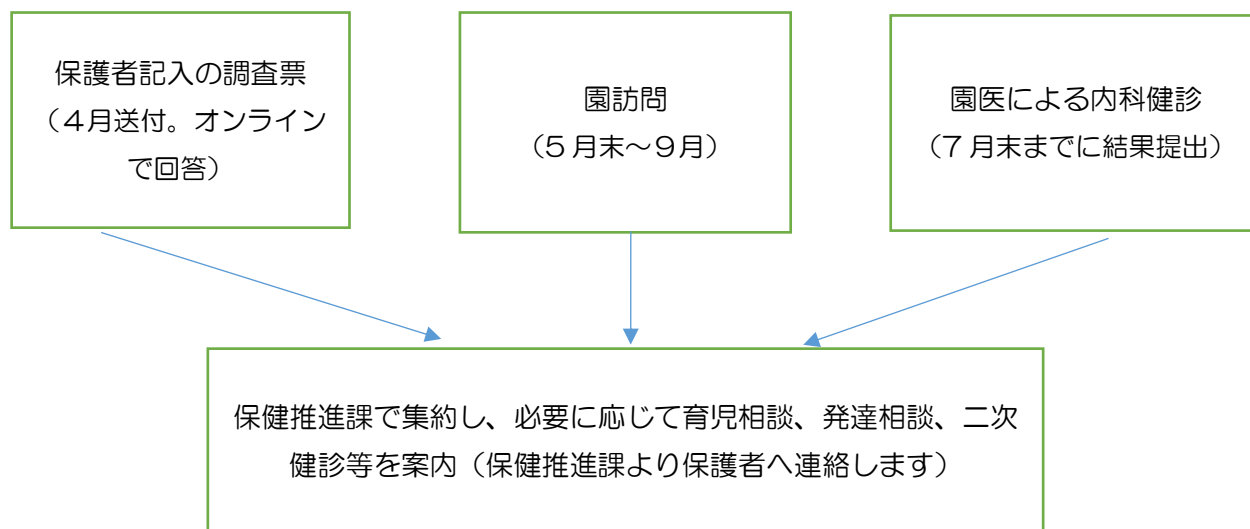
5歳児（年中児）健診の特徴は、個人の成長発達の確認だけでなく、集団での様子を確認し、社会性の発達の状況を把握することにあります。

そのため、3歳児健診までのように健診会場で診察やスクリーニングを行うのではなく、園医による診察結果と園の先生方が日ごろ見ておられるお子さんの様子を教えていただき、保護者の調査票結果と合わせてスクリーニングを行います。

◆ 5歳児（年中児）健診の対象…年中児クラスの子どもたち

調査時点で宇治市に住民票のあるお子さんが対象です。調査後に転入されてきた場合など、迷われる場合は保健推進課までご連絡ください。

◆ 5歳児（年中児）健診の流れ



※園訪問日程については別途、個別に調整させていただきます。